

「当院における低血糖にて救急搬送となった症例の患者背景に関する検討」の研究について

加古川中央市民病院糖尿病代謝内科では、現在、当院へ低血糖で救急搬送された患者さんを対象にした研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

当院に低血糖で救急搬送され糖尿病代謝内科が診察することがあります。しかし、低血糖で救急搬送される患者さんの背景は様々です。

今回、当院の低血糖搬送された患者さんの背景等を調査し、診療の指針を検討することを目的に研究いたします。

【研究期間】

調査データ該当期間：西暦 2017 年 4 月 1 日～西暦 2020 年 9 月 30 日

研究期間：加古川中央市民病院長の許可日～西暦 2020 年 10 月 05 日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

- ①基本情報：年齢、性別、合併症、喫煙歴、飲酒歴など
- ②疾患情報：病型（1 型 II 型）、低血糖搬送歴、現在の内服薬
- ③血液検査：EGFR、HbA1c 等

【個人情報保護の方法】

本研究に係わるすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

研究責任者または研究分担者は、プライバシーの侵害に対する研究対象者の権利保護の原則を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本件急を行う上で知りえた個人情報を正当な理由なく漏らすことはありません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：この研究に参加いただくことで直接患者さんに利益が生じる事はありませんが、この研究の成果によって、有効な治療法の選択肢を示しやすくなる可能性が期待されます。

不利益：この研究では、患者さんのカルテから診療情報を収集させて頂くのみですので、患者さんに不利益が生じることはありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

患者さんよりご提供いただきました試料や情報は、研究期間中は加古川中央市民病院糖尿病代謝内科において厳重に保管いたします。

なお、保存した試料や情報を用いて新たな研究を行う際は、研究倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し病院のホームページに掲載します。

ただし、患者様が本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

[研究成果の公表について]

本研究結果は糖尿病学会年次学術集会で発表予定です。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。データを本研究に用いたくない場合には、下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いられることはありません。しかしながら同意を取り消したとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

尚、拒否された際にも不利益が生じることは一切ありません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 糖尿病代謝内科

研究責任者名 播 悠介

連絡先：079-451-5500